



そばつち
日記

「力をあわせて乗り越えよう」。東日本大震災の被災地、岩手県で開かれている今大会。本県のバスケットボール女子チームの選手が、その岩手と今年地震に見舞われた熊本両県へのエールを布の横断幕に書き込み、会場に掲げている一写真。

「熊本地震があった年に岩手に行くから、一緒に頑張ろう」という思いを伝えた

かった」と、主将の田村菜々選手（MrMax時津店）が発案。選手それぞれが「ファイトー」「長崎から応援しています」などのメッセージや絵を手書きしている。チーム内で義援金も募り、被災地に送った。

1枠だった九州予選を突破したことで「九州代表」としての思いを強くした選手たち。熱いプレーではもちろん、その優しさに満ちた行動でも、心を温かくしてくれました。（理）